



医療法人辰星会 柊記念病院

〒964-0867

二本松市住吉100 TEL: 0243-22-3100

「キビタン健康ネット 利用施設の声」の第6回目は医療法人辰星会 柊記念病院 医師 圓谷 博先生と、オーダーリングシステム開発室の三浦有樹主任にお話を伺いました。

柊記念病院は、現在15科を標榜し、脳神経疾患を中心とした救急医療には特に力を入れ、ドクターヘリにより安達圏域以外からの患者さんも受け入れております。また、開院当初からリハビリテーションにも力を入れているためリハビリスタッフが多く在籍しており、日々のリハビリテーションは勿論のこと、地域リハビリテーション広域支援センターとしても活動しております。最近では災害救急医療にも力を入れ院内の体制を整えております。さらに、最新鋭のX線FPDデジタルアンギオ撮影装置を始め、24時間稼働可能なCT、MRIなどの医療機器を整備し365日24

時間体制で救急患者さんを受け入れ、また、連携する診療所から画像撮影依頼や紹介受け入れを積極的に行っております。

◇「キビタン健康ネット」をどのように使っていますか。

安達地区では、医師会が中心となり「キビタン健康ネット」の回線を使った「検診読影システム」で二次読影を行っています。そのため参加医療機関が多く、紹介や逆紹介の際、紹介状に情報を添付するのではなく、「キビタン健康ネット」で情報を見てもらっています。

また、病院併設ではない介護老人保健施設から検査目的で当院に紹介をいただくことがあります。「キビタン健康ネット」では直近の検査結果だけでなく以前のデータも確認することができるので、老健施設からは大変ご好評いただいております。当院に入院している患者さんが退院後、近隣の老健施設に入所する場合は、老健施設の方で同意書を取得し、入所先で情報を見られるようにしてから

キビタン健康ネット 利用施設の声

第6回



退院するケースも増えてきました。診療情報提供書だけでは不足する情報を「キビタン健康ネット」で確認して準備していただけるので、当院としても安心です。

◇「キビタン健康ネット」を使い始めて変わったことはありますか。

患者さんを紹介・逆紹介する際に、これまでは検査結果をCDや紙で郵送していましたが、データCDの作成作業や郵送の手続きが少なくなり、コスト低減や地域連携室の事務作業が簡略化できており助かっています。

また、院内の医師からも他の情報提供病院から紹介や転院の患者さんが来た時に、「キビタン健康ネット」で情報を参照したいという声があります。

◇同意書はどのように取得していますか。

基本的に紹介・逆紹介関係なく、地域連携室で該当の患者さん全員をピックアップし、患者さんが窓口で紹介状を持参した時や会計の待ち時間に、医事課の窓口スタッフで説明および同意取得を行っています。

当院が情報提供開始の際、連携する先生方から「診療所はスタッフが少なく、同意取得が大変」という声があり、当院では紹介する時だけでなく、紹介を受けた患者さんに対しても同意取得をしているため、診療所の先生方の負担軽減になっていると思います。最近では、診療所の方で同意書を取得してから当院に紹介というケースも徐々に増えてきました。

外来患者さんに比べ、退院患者さんは、時間がないと断られるケースも多いので、病棟クラークや医療ソーシャルワーカーと協力し、説明および同意取得ができる体制を整えたいと考えています。

◇今後、どのようなことを期待していますか。

是非、県立医科大学附属病院には情報提供を開始してほしいです。当院からの紹介や、データを取り寄せる件数が多いので「キビタン健康ネット」で情報を提供・参照できるようになると大変助かります。現状では、情報提供を医大に依頼すると郵送となるため、約2～3日かかり、その後届いたデータを画像システムに取り込むので、参照するまでに時間がかかります。当院は電子カルテ端末から全て「キビタン健康ネット」にアクセスできるので、医大の情報を各端末から参照できるようになれば、メリットはかなり大きく、院内での利用が一層進むと思います。また、病診連携に比べ病病連携の際には利用されるケースがまだまだ少ないため、情報提供病院間でもっと積極的な利用ができると良いと思います。

加えて、救急時に「キビタン健康ネット」を利用したい希望があります。救急車等で急遽、患者さんが来院する場合、現状の仕組みではデータの参照・提供ができずFAXで情報を受け取ることが多いです。救急時、先に診療データを送ってもらい、患者さん来院時に同意を取って使えるようになるとう良いですね。DICOM画像や検査データがあれば、事前準備ができるのでとても役立つと思います。



圓谷先生、三浦主任ありがとうございました。